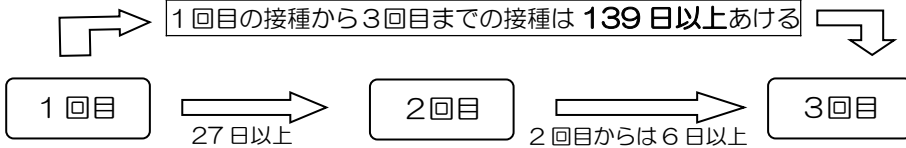


B型肝炎ワクチン予防接種の説明

接種対象年齢	生後12月に至るまでの間にある者（誕生日の前日まで）
望ましい接種年齢	生後2月から生後9月に至るまで
ワクチンの種類	不活化ワクチン
予防する病気	<p>< B型肝炎 > B型肝炎は、B型肝炎ウイルスの感染により起こる肝臓の病気です。 B型肝炎ウイルスへの感染は、一過性の感染で終わる場合と、そのまま感染している状態が続いてしまう場合（この状態をキャリアといいます）があります。キャリアになると慢性肝炎になることがあり、そのうち一部の人では肝硬変や肝がんなど命に関わる病気を引き起こすこともあります。 ワクチンを接種することで、体の中にB型肝炎ウイルスへの抵抗力（免疫）ができます。 免疫ができることで、一過性の肝炎を予防できるだけでなく、キャリアになることを予防でき、まわりの人への感染も防ぐことができます。 ※予防接種を受けても、お子さんの体質や体調によって免疫ができないことがあります。</p>
接種回数	<p>● 標準的な接種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回接種は、27日以上の間隔をおいて2回 ・追加接種は、2回目の接種から6日以上、1回目から139日以上の間隔をあけて1回 
実施時期	年間通して実施
実施場所	個別予防接種実施医療機関
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・任意接種（自費）で既にB型肝炎ワクチンの接種を受けたことがある人は、既に接種した回数分の接種を受けたものとみなし、残りの回数を接種することになります。 ・母子感染予防のために抗HBs人免疫グロブリンと併用してB型肝炎ワクチンの接種を受ける場合は健康保険が適用されるため、定期接種の対象外となります。
副反応	<p>接種箇所が赤くなったり、腫れたり、しこりができたり、痛みを感じたりすることがあります。 注射したところだけでなく、熱がでたり、刺激に反応しやすくなったりすることがあります。 いつもより機嫌が悪かったり、ぐずったり、眠そうにしたりすることがあります。 極めてまれに、アナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎などの重い病気にかかることがあるといわれています。</p>
備考	<p>各医療機関に予約の有無や時間を確認してください。 必ず体温を測って、予診票と母子健康手帳を持っていきましょう。</p>

予防接種を受けに行く前に

予防接種に行く前のチェック

- お子さんの体調はよいですか。
- 今日受ける予防接種について、必要性、効果及び副反応など理解していますか。わからないことがあれば、質問をメモにしておきましょう。
- 母子健康手帳は持ちましたか。
- 予診票の記入は済みましたか。

1. 接種を受ける前に

予防接種は体調のよい時に受けるのが原則です。日頃から保護者の方はお子さんの体質、体調など健康状態によく気を配ってください。そして気にかかることがあれば、あらかじめかかりつけ医や佐賀市健康づくり課にご相談ください。

安全に予防接種を受けられるよう、保護者の方は、以下のことに注意の上、当日に予防接種を受けるかどうか判断してください。

- (1) 当日は、朝からお子さんの状態をよく観察し、ふだんと変わったところのないことを確認するようにしましょう。
予防接種を受ける予定であっても、体調が悪いと思ったら、かかりつけ医に相談の上、接種をするかどうか判断するようにしましょう。
- (2) 受ける予定の予防接種について、必要性や副反応についてよく理解しましょう。わからないことは、接種を受ける前に接種医に質問しましょう。
- (3) 「母子健康手帳」を必ず持っていきましょう。
- (4) 予診票は、接種する医師への大切な情報です。責任をもって記入するようにしましょう。
- (5) 予防接種を受けるお子さんの日頃の健康状態をよく知っている保護者の方が連れて行きましょう。

2. 接種を受けた後

- (1) 予防接種を受けた後 30 分間程度は、医療機関（施設）でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- (2) 接種後、生ワクチンでは 4 週間、不活化ワクチンでは 1 週間は副反応の出現に注意しましょう。
- (3) 接種部位を清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- (4) 当日ははげしい運動は避けましょう。
- (5) 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

【お問合せ先】

佐賀市役所 健康づくり課 予防接種係

0952-40-7279